

1 令和2年1月27日開催 経済委員会での説明内容

- ① R1年度に実施した施設整備の設計業務で、事業費が、当初の見込みより増加
 - 基本計画（H30年度） 総事業費 約29億円
 - 基本・実施設計（R2.1月） 総事業費 約42億円（13億円増加）
 - ・耐震補強箇所の増加（9億円）
 - ・地盤の補強（2億円）
 - ・雨水排水抑制の調整池設置等（2億円）
- ② 下地調整材にアスベストが含有していることが判明（工法、工期、費用は調査中）
- ③ 事業費の増高により、基金と駐車場売却による整備財源では賄えない可能性がでてきたため、R2年度に改めて、競輪事業検討会を設置、検討を行うこととした。

2 令和2年度のこれまで（4月～9月）の状況

- ④ アスベスト除去に関する調査結果
 - 【工法】集じん装置付超高压水洗工法・解体とあわせて実施
 - 【工期】10か月
 - 【費用】6億円（増加）⇒総事業費48億円
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症による影響
 - ・熊本競輪場における場外車券発売・・・4月1日～6月14日の中止
 - ・熊本市営競輪FⅠ（久留米競輪場借上げ）開催・・・5月の開催中止
 - ・全国の競輪・・・現在、全場開催（一部、無観客やレース数削減で実施）
- ※検討に必要な収支推計が困難なことから、検討会の立上げを見計らっている状況

3 今後（議会終了後）について

検討会が開催されない状況が継続することは関係者等に不安を与える恐れがあり、今後、早期に検討会を立上げ、現時点で収集可能な資料等により検討をすすめる。

競輪事業検討会の概要（案）

【設置目的】

整備費用が増加し、基金と駐車場売却による費用では賄えない可能性が想定されるため、競輪事業検討会を設置し、今後の事業の在り方、特に費用面の検討を行う。

【時期】10月又は11月から開催（検討内容については随時、経済委員会で報告）

【委員】過去の経緯等を理解されている前回検討会の委員を含め選定

（前回委員）学識経験者2名、公認会計士、弁護士、競輪関係団体（JKA、全国競輪施行者協議会）、市民委員 計7名